

## 内田拓光さん 全日本卓球選手権大会・東アジア卓球大会出場!

7月22日から24日にかけて「平成23年度全日本卓球選手権大会」が兵庫県の神戸総合運動公園体育館で開催され、内田拓光さん(中小前田・桜沢小6年)がホープスの部(小学6年生以下)に出場しました。

全国から218人が出場した大会で、内田さんは予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントに進出しましたが、3回戦で惜しくも敗れました。

内田さんは「全国大会に出場でき、とてもうれしかったです。3回戦で負けてしまいました。もっと勝ちたかったです」と話してくれました。

また、8月2日、3日に大阪府立体育会館で行われた「第20回東アジアホープス卓球大会」にも日本代表として出場しました。男子団体で日本Bの一員として活躍し、総合第4位に貢献しました。個人戦は惜しくも決勝トーナメントには進出できませんでした。

大会終了後、内田さんは「個人で上位リーグに行けなくて、とてもくやしかったです。国際大会はみんな強かったです」と話してくれました。



## 開催しました! 非核平和都市宣言記念事業



町では8月21日に中央公民館で、昭和62年の非核平和都市宣言決議から約四半世紀が経過した節目として、埼玉県原爆被害者協議会会長の田中照巳氏を講師に迎え、記念講演会を開催しました。

田中氏は、13歳の時に長崎市で被爆した自身の体験をはじめ、被爆者への援護活動、核兵器の廃絶運動などについて話されました。

また、今回の東日本地域での放射性物質の人体への影響については、自らの被爆体験をもとに、「人間は、元来細胞の自己修復能力をもっており、ストレスをためずバランスの良い食事で修復能力を高めることが大事である」と講演されました。

## 町招待サッカー大会開催 寄居女子SCが連覇!

8月6日、7日に「第28回寄居町招待少年・少女サッカー大会」が本田技研寄居グラウンドで行われ、県内外から男子24チーム、女子6チームが参加し、熱戦を繰り広げました。男子の部は、東川口FC・jrが優勝しました。女子の部では、寄居女子サッカークラブスポーツ少年団が、昨年に引き続き優勝し、連覇となりました。

寄居女子SCの木島優希(桜沢小6年)さんは「たくさんの方が応援してくれたので、優勝できてとてもうれしかったです。これからもたくさんの方の大会で優勝できるように頑張ります。目指せ!なでしこ!」と話してくれました。



## 非行・被害防止特別強調月間 キャンペーン実施!

寄居町青少年健全育成町民会議(矢部伸昭会長)では、7月19日の通学時間帯に寄居駅、桜沢駅、男衾駅で「非行・被害防止特別強調月間キャンペーン」を実施しました。参加した27人の運営委員はそれぞれの場所で「おはようございます」「いってらっしゃい」と乗降客に声をかけながら非行・被害防止を呼びかけ、啓発物を配布しました。



## 開催しました! 人権擁護委員とふれあう会



8月3日に熊谷人権擁護委員協議会寄居部会が主催する社会福祉施設特設相談「人権擁護委員とふれあう会」が特別養護老人ホーム「花ぞの」で開催されました。人権擁護委員が中心となり、歌やゲームで高齢者の皆さんとふれあい、楽しいひとときを過ごしたあと、心配ごとの相談などを受けました。

なお、人権擁護委員は毎月2回開催される「心配ごと相談」の相談担当者になっています。人権についての相談など、お気軽にご来庁ください。

## 鉢形城歴史館で さまざまなイベント開催!

鉢形城歴史館では、学校等の夏季休暇期間に、さまざまな催しを開催しました。7月24日に「プチコンサート」、30日に「勾玉づくり」、8月13日に「牛乳パックの灯笼づくり」が行われ、たくさんの方が参加されました。

「プチコンサート」では、武蔵野音楽大学の生徒によるクラリネット・オーガエ・フルートの木管三重奏が行われ、「星に願いを」などの曲が館内に響き渡りました。

「勾玉づくり」では滑石という柔らかい石を、時間をかけて削り、勾玉のペンダントを作りました。「牛乳パックの灯笼づくり」では、牛乳パックに好きな絵を描き、カッターで絵を切り抜いて作りました。参加者の作品は、10月8日に鉢形城公園で開催される「お月見の会」で、会場を彩る灯笼として披露されます。参加者からは「おもしろかった!」「もう一つ作りたい!」といった声がありました。



プチコンサート



灯笼づくり



勾玉づくり